

事後アンケート結果

- 参加学生7人(全員修士1年、男性5人、女性2人)。全員が回答。
- 全員が進路として就職希望。

1) 対話の内容は満足のものでしたか

- (7)とても満足
- (0)ある程度満足
- (0)やや不満
- (0)大いに不満

【理由】

- ・シニアの知識、思考は天と地ほどの差があり、説得力があった。
- ・これまで何となく考えてことをさらに深く考えることが出来た。
- ・考えていることを、発表することの難しさを学んだ。
- ・ディスカッションの経験が初めてだったので新鮮だった。

2) 今回の対話で得られたことは何ですか(複数回答可)

- (7)新しい知見が得られた。
- (1)マスコミ情報と今回の対話会情報に違いがあった。
- (1)自分の将来の進路の参考になった。
- (0)教育指導の参考になった。
- (0)特に新しい知見は得られなかった。
- (0)その他

【得られたこと】

- ・新たな知識や重要な事実(カーボンニュートラル、ウクライナ侵略等)
- ・日本と世界のエネルギー事情
- ・小型炉のメリット、デメリット

3) 学生とシニアの対話」の必要性についてどのように感じますか

- (4)非常にある
- (3)ややある
- (0)あまりない
- (0)全くない

【感じたこと】

- ・現場経験豊富なシニアとの対話は貴重
- ・自分で勉強することが大切
- ・楽しい経験であった

4) 今後、機会があれば友達や後輩に対話会への参加を勧めたいと思いますか

- (6)勧めたいと思う

- (0)勧めたいとは思わない
- (1)どちらともいえない
- (0)その他

【理由】

- ・年代の離れた人生の先輩であるシニアとの対話は貴重
- ・新たな知識を得る良い機会であった

5)放射線、放射能に対して伺います(複数回答可)

- (0)放射線、放射能はやはり怖い。
- (1)一定のレベルまでは恐れる必要はないと以前から知っていた。
- (3)一定のレベルまでは恐れる必要がないことを講演、対話から理解できた。
- (4)放射線、放射能は生活に有用であることを前から知っていた。

6)原子力発電に対して伺います。

- (1)原子力発電の必要性を強く認識した。削減又は撤退すべきでない。
- (4)原子力発電の必要性は分かっていたので、認識は変わらなかった。
- (1)原子力発電の必要性は分かるが、やはり危ないから早期に削減又は撤退すべきだ。
- (0)原子力発電を止め、再生可能エネルギーを最大限使えばよい。
- (1)どうすればいいかよく分からない。

【理由】

- ・再エネで不足する分を原子力で賄うべき
- ・原子力を再エネで補うことは困難であり、原子力の削減は難しい
- ・原子力は必要で、ある程度削減し、リスクと向き合うべき
- ・日本は、原子力を使わざるを得ない状況にある

7) 2050年カーボンニュートラル政策は必要と思いますか

- (0)必要であり、実現可能である
- (7)必要であるが、実現するとは思えない
- (0)必要ない
- (0)分からない

【理由】

- ・アメリカや中国など CO2 多量排出国がこの政策に力を入れないと実現はしないと思う。
- ・実現には、原子力の拡大が必要。現在の国民の理解と規制審査状況では、2050年に間に合わない。
- ・再エネは戦力にはならない。
- ・原子力発電に制限がある日本は火力発電はゼロにはならない。

8)世界的なエネルギー危機についてどのように認識していますか

- (2)大変厳しい状況である

- (4) 厳しい状況である
- (0) それほど厳しいとは思わない。
- (1) 分からない。

【意見】

- ・日本のようなエネルギー資源を輸入に依存している国はエネルギー不足や経済的ダメージが大きい。
- ・日本は、様々な発電のデメリットばかりに注目せず、メリットと組み合わせて考えるべき。
- ・人類の課題であるので世界的に取り組んでいくべきであろうが、エネルギーを求めて国際紛争になりかねない。

9) わが国として 2050 年カーボンニュートラルの実現とエネルギー危機への対応はどうしたらよいとお考えですか(複数回答可)

- (0) 再生可能エネルギーだけで可能と思う
- (2) 不安定な太陽光や風力には限界がある
- (3) 原子力を最大限活用すれば可能と思う
- (1) 排出される二酸化炭素の分離、活用、隔離をすれば可能と思う
- (1) 水素燃料などへの燃料転換により可能と思う
- (0) ロシアからの燃料の代替供給元を探す必要がある
- (1) ロシアからの燃料は再エネと原子力で代替できる
- (0) その他
- (1) 分からない

【意見】

- ・原子力に依存する(6割)場合、安全面は大丈夫と思っけていてもさすがに心配が増してしまう。
- ・再エネが使えない時の代替を用意すべき。
- ・再エネの効率を上げ、ロシアからの燃料以外に頼れる資源が必要。
- ・原子力の活用を進めるべし。再稼働すれば、ロシアからの燃料分は補える。また、CO2 削減にもつながる。

10) 本企画を通して全体の感想・意見などがあれば自由に書いてください。

【意見】

- ・今後の生活について考えさせられる貴重な対話会を経験できた。
- ・非常に勉強になる対話会であった。まだまだ勉強不足であることも実感した。また、人にはそれぞれの価値観、考え方があり、一つの結論を導くことは難しいと感じるとともに、その必要もないと思った。まずは一人一人がしっかり考え、自分なりの意見をもつことが大切！当事者意識をもつ！

以上